



2011年11月18日

お客様向け資料

BNP パリバインベストメント・パートナーズ株式会社

### スタンダード・アンド・プアーズ (S&P) によるブラジル国債の格付けの引き上げについて

2011年11月17日(現地)、スタンダード・アンド・プアーズ(以下、S&P)は、ブラジルの長期外貨建て格付けを BBB- から BBB に引き上げたと発表しました。

同社は、2008年4月末に長期外貨建てブラジル国債の格付けを BB+ から投資適格となる BBB- に引き上げ、その後も見通しを“安定的”で維持してきました。

既にフィッチ・レーティングス(フィッチ)は2011年4月4日に、ムーディーズ・インベスターズ・サービス(ムーディーズ)は2011年6月20日に、いずれもブラジル経済のファンダメンタルズが安定していることを評価して、ブラジルの長期外貨通貨建て国債の格付けを、BBB-相当から BBB 相当に引き上げており、今回の引き上げは両社の格付け引き上げに続くものとなっています。

S&Pの格付けの引き上げにより、大手格付け機関3社がいずれも、投資適格取得後の格上げを実施したことになります。

S&Pは2011年5月23日に、ブラジルでは国内総生産(GDP)の長期的に安定した成長が見込まれること、経常赤字や財政赤字が低水準で外部の悪影響に対する脆弱さが徐々に是正されると見られるとして、同国の外貨建てソブリン信用格付け見通しをポジティブに引き上げたほか、8月25日には、自国通貨建て国債の格付けを引き上げ方向で見直すを発表していました。こうしたことから、ブラジルの格上げは概ね予想されていましたが、欧州諸国が債務危機に見舞われるなか、ブラジルの相対的な財政の健全性が確認される形となりました。

今回の格上げについて S&P は声明で、理由として「ルセフ政権は財政目標の達成に向けてコミットメントを強めており、外的ショックに打たれ強くなっている。ブラジル経済は底堅く、潜在的な外的ショックによる影響は穏やかな範囲にとどまり、長期的な成長見通しは維持されるだろう」としています。

#### 通貨レアルの推移

(円) (2008年1月2日 - 2011年11月17日) (レアル)



#### ブラジル外貨建て国債の格付け推移

	ムーディーズ	S&P	フィッチ
2011年11月17日		BBB	
2011年6月20日	Baa2		
2011年4月4日			BBB
2009年9月22日	Baa3		
2008年5月29日			BBB-
2008年4月30日		BBB-	
2007年8月23日	Ba1		
2007年5月16日		BB+	
2007年5月10日			BB+
2006年8月31日	Ba2		
2006年6月28日			BB
2006年2月28日		BB	

本資料は、BNP パリバアセットマネジメント ブラジルが作成した資料をもとに、BNP パリバインベストメント・パートナーズ株式会社が、ブラジル市場に関する当社の見解を提供することを目的として、2011年11月18日に作成したものであり、法律に基づいた開示資料ではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点でのものであり、予告なく変更する場合があります。尚、本資料中の過去の実績に関する数値、表、見解や予測などを含むいかなる内容も将来の運用成績を保証するものではありません。